

## 会 議 録

会議の名称	第1回 機種選定委員会																
開催日時	平成20年8月29日(金) 15:30~18:00																
開催場所	真岡市公民館 第7会議室																
公開の可否	非公開																
非公開理由	機種選定委員会の進め方や委員長等の選出など委員会のルールづくりが主な内容であり、機種選定に係わる検討内容でないため、公開としなかった。																
出席委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">栗原英隆 (委員長)</td> <td style="width: 50%;">高野貞夫 (委員)</td> </tr> <tr> <td>吉川博 (副委員長)</td> <td>高野芳徳 (委員)</td> </tr> <tr> <td>小川秀一 (委員)</td> <td>豊田辰夫 (委員)</td> </tr> <tr> <td>菊井豊 (委員)</td> <td>永山富夫 (委員)</td> </tr> <tr> <td>小久保行雄 (委員)</td> <td>橋本皓朗 (委員)</td> </tr> <tr> <td>笹島希一 (委員)</td> <td>星光徳 (委員)</td> </tr> <tr> <td>佐藤良夫 (委員)</td> <td>柳昭示 (委員)</td> </tr> <tr> <td>塩田進 (委員)</td> <td>谷畑泰彦 (委員)</td> </tr> </table>	栗原英隆 (委員長)	高野貞夫 (委員)	吉川博 (副委員長)	高野芳徳 (委員)	小川秀一 (委員)	豊田辰夫 (委員)	菊井豊 (委員)	永山富夫 (委員)	小久保行雄 (委員)	橋本皓朗 (委員)	笹島希一 (委員)	星光徳 (委員)	佐藤良夫 (委員)	柳昭示 (委員)	塩田進 (委員)	谷畑泰彦 (委員)
栗原英隆 (委員長)	高野貞夫 (委員)																
吉川博 (副委員長)	高野芳徳 (委員)																
小川秀一 (委員)	豊田辰夫 (委員)																
菊井豊 (委員)	永山富夫 (委員)																
小久保行雄 (委員)	橋本皓朗 (委員)																
笹島希一 (委員)	星光徳 (委員)																
佐藤良夫 (委員)	柳昭示 (委員)																
塩田進 (委員)	谷畑泰彦 (委員)																
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本事業の概要について</li> <li>・ 機種選定委員会設置要綱について</li> <li>・ 委員長及び副委員長の選出</li> <li>・ 機種選定委員会における検討内容とスケジュール</li> <li>・ 委員会の議事運営について</li> <li>・ 事前研修「処理方式の紹介」</li> </ul>																
配布資料	<p>【資料1】 芳賀地区広域行政事務組合ごみ処理施設機種選定委員会名簿</p> <p>【資料2】 機種選定委員会設置要綱</p> <p>【資料3】 委員会の運営に関する申合せ事項(案)</p> <p>【資料4】 機種選定委員会における検討内容とスケジュール</p>																

## **本事業の概要について**

事務局より「本事業の概要」について説明。

## **機種選定委員会設置要綱について**

事務局より「【資料2】機種選定委員会設置要綱」について確認。

## **委員長及び副委員長の選出**

委員長として栗原委員、副委員長として吉川委員を選出。

## **機種選定委員会における検討内容とスケジュール**

事務局より、「【資料4】機種選定委員会における検討内容とスケジュール」について説明。

委員長 : 焼却 + 灰溶融から流動床式 + 灰溶融が落ちているのは、新たな採用実績がないことから落としたのですか。

事務局 : 広域化基本計画（改訂版）において、焼却 + 灰溶融はストーカ + 灰溶融の1機種に限定してまいりました。

A 委員 : 焼却 + 灰溶融炉というのは既に決定しているのですか。

事務局 : 広域化基本計画において、焼却灰の資源化、ダイオキシン類対策ということで、灰溶融することとして定まっておりますので、本委員会において、この点についても再度確認して頂きたいと考えております。

委員長 : 地域計画は提出済みですか。

事務局 : これから提出するところです。

委員長 : 灰の資源化をしない場合には、リサイクル率については国の定める基本方針を満足できますか。

事務局 : 灰を資源化せずに埋立処分を行った場合には、リサイクル率、最終処分量に関する国の目標は達成できなくなります。

委員長 : 灰溶融の維持管理経費が負担となっています。また、スラグの利用用途はありますが、需要と上手く適合しないということもあり、溶融が難しい局面にあるので、溶融設備設置の有無については、今後の委員会で議論したいと考えています。

B 委員 : 先進地視察は、3日間もかかるのですか。

事務局 : 視察先の都合及び立地等の理由から、3日間となっています。具体的には、ストーカ + 灰溶融方式は栃木県大田原市、流動床式ガス化溶融方式は栃木県佐野市、シャフト炉式ガス化溶融方式は新潟県新潟市、キルン式ガス化溶融方式は山梨県韮崎市の施設を見学する予定となっております。

委員長 : 先進地視察においては、事前に質問書を送付しておくこと効率的で有意義な視察になると思われますので、事務局で用意を進めておいてください。

事務局 : 用意し、事前に視察先に送付するように致します。

- C委員 : 今後の委員会の開催時間等は決まっているのですか。
- 事務局 : 次回の事前研修 は、午後を予定しています。先進地視察は、終日となってしまうと思います。第3回委員会は、第一候補10月21日午後、第二候補10月23日午後を予定しております。
- 委員長 : 平成21年3月まで委員会が予定されていますが、日程調整については、委員会毎に次回委員会開催日の調整を行い、極力多くの委員が参加できるようにしたいと考えています。
- 委員長 : 本委員会の検討テーマとしては、2つありますが、灰の資源化方式の検討を先に行うことで良いですか。
- 事務局 : その様に考えております。
- 委員長 : 特に、意見等が無いようですので、以上で委員会の検討内容とスケジュールを終わります。

### **委員会の議事運営について**

事務局より、「【資料3】委員会の運営に関する申合せ事項(案)」について説明。

- 委員長 : 傍聴希望者は先着順となっているが申込書等で事前に申込みを行うのですか。
- 事務局 : 会場での受付を考えております。
- 委員長 : 委員会の開催日程を組合のホームページに掲載するということだと、地域に直接関係のない方も出席できることになりますね。
- D委員 : 住所要件は設けないのですか。
- 事務局 : 特に、住所要件を設けることは考えておりません。
- 委員長 : 会議録は全文議事録ではなく、要旨と考えて良いですか。
- 事務局 : 発言内容の要旨を取りまとめたものと考えております。
- 委員長 : 議事録の公開方法はどのようなか。
- 事務局 : 具体的な方法は検討中です。
- 委員長 : 議事録の公開方法は事務局で検討中のため、決定次第委員会に図りたいと思います。
- 委員長 : 資料3の委員会の申合せ事項案については、特に異議がないようですので、この内容で決定し、本委員会における申合せ事項にすることにします。

### **事前研修「処理方式の紹介」**

事務局より、事前研修 として「処理方式の紹介」について説明。

- E委員 : 各方式のメリット、デメリットはどのようになりますか。
- 事務局 : 各方式とも特徴が異なっており、今後、委員会の中で検討して頂くことになります。
- E委員 : 今回の視察では、どの方式を見に行くのか。
- 事務局 : ストーカ+灰溶融方式、シャフト炉式ガス化溶融方式、流動床式ガス化溶融方式、

キルン式ガス化溶融方式の4つを見学する予定です。ストーカ+灰溶融方式は栃木県大田原市、流動床式ガス化溶融方式は栃木県佐野市、シャフト炉式ガス化溶融方式は新潟県新潟市、キルン式ガス化溶融方式は山梨県韮崎市の施設を見学する予定です。

F委員：施設で発電した場合にはどの様になるのか。

事務局：各方式で発電量、場内使用量が異なることから有効利用できる量が異なってくるので、この点を比較していくこととなります。また、熱からどれだけ電気に変えられるかということも比較になると考えます。

委員長：資料では、発電効率とあるが、送電端効率がよいと思います。

委員長：今回の委員会での機種絞り込みはどこまで行う予定ですか。

事務局：芳賀地区に望ましい順に順位付けを行って頂くことで考えております。

A委員：資料中で、施設の稼働状況となっているのは、ストーカの稼働状況が入っていないので、ガス化溶融施設の稼働状況に記述を変えた方がよいと思われれます。

事務局：修正致します。今後、不足している内容は補うように致します。

G委員：ストーカ炉の実績を加えるとどの程度になりますか。

事務局：現在、ガス化溶融方式で稼働している施設が80施設程度あり、ストーカ炉は1,000施設程度ですので、約1,080施設程度となります。

G委員：ガス化溶融施設の実績が伸びてきていないのはどういう理由からですか。

事務局：実績が伸びていないということではなく、採用されはじめたのが比較的最近なためです。

G委員：ストーカ炉の採用実績も含めて改めて資料を提出して下さい。

事務局：次回の委員会の資料としてお示し致します。

F委員：それぞれの方式で耐用年数はどのようになっていますか。

事務局：今回整備する施設は、20年稼働させることを考えております。そうした場合、全ての方式で20年間施設を稼働させることは可能ですが、20年間施設を維持していくために必要な費用というのは方式によって異なります。メーカーヒアリングを通して調査を行いたいと考えております。

A委員：ガス化溶融施設では、稼働実績をみると多くの施設が7年間程度しか稼働していないため、大幅な炉の改修等が発生するのはもう少し後になると考えるべきですか。

事務局：施設で比較的費用のかかる補修の必要な時期が5年目付近、2回目が10年目付近となります。ガス化溶融施設の場合は、実績を考慮して把握する部分とこれまでの焼却施設の経験から集じん設備など共通部分から想定される部分があると思います。

A委員：ということになると、ガス化溶融施設では、これから本格的な炉の改修や大規模な補修を要すると考えてよいのですか。

委員長：シャフト炉方式では、昭和54年から稼働しています。

A委員：シャフト炉方式では、施設のLCCをつかめているということですか。

委員長：ガス化溶融4方式の中で、実績の数字を最もつかんでいるのはシャフト炉方式だと

思います。残りの方式は、推定の部分があると思います。

E 委員 : ガス化溶融方式は、ライフサイクルとして本当のデータとしてつかめているのですか。

委員長 : シャフト炉方式を除くガス化溶融方式は、まだ、歴史が浅い部分もあると思います。

事務局 : 各社とも初号機から受注を重ねノウハウを積んできているところですので、今後の委員会の中でご判断頂きたいと考えております。

G 委員 : 先ほど次回の資料でお示し頂けることになっている実績には、灰溶融の実績も併せて示して頂ければと思います。

事務局 : 灰溶融の実績も含めて提出致します。

### その他

委員長 : 特に委員の方からはないので、事務局から連絡事項をお願いします。

事務局 : 1 点目ですが、先進地視察を挟みますので次回の審議は、第 3 回委員会ということになります。この会議を公開とするか、非公開とするかについて協議をお願い致します。また、2 点目は、その第 3 回委員会の開催日ですが、先ほどご都合がつかない委員もいらっしゃるよう伺いましたので、10月27日、28日のいずれかに変更させて頂ければと思いますがいかがでしょうか。

委員長 : まず日程から協議したいと思いますが、10月27日、28日のいずれかでご都合の悪い方はいらっしゃいますでしょうか。

委員長 : 特にないようですので、事務局いかがしますか。

事務局 : 10月28日午後をお願いします。

委員長 : では、第3回は、10月28日午後ということで、時間は決まりましたら事務局より改めてご連絡頂くこととします。

委員長 : 第3回委員会の公開、非公開の取扱いですが、審議内容を考慮すると、特別非公開とする理由もないかと思しますので、原則公開で行いたいと思いますがいかがでしょうか。

委員 : 異議なし。

委員長 : では、第3回委員会は公開とします。

委員長 : ; これで全ての議題を終了しましたので、第1回機種選定委員会を終了させて頂きま

以 上